

(中国乙12)  
細菌性・アメーバ性赤痢  
発生推移  
= 2024年4月度 =

発表: 2024年05月31日 国家NDPCA

作成: 2024年06月01日  
日中医療衛生情報研究所

# 細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、  
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で  
月間発症者数の『過去最低記録』を更新した。  
その後、2021年5月からまた過去最低記録を更新中  
2015年は、138,917人、  
2016年は、123,283人、  
2017年は、109,368人、  
2018年は、91,152人、  
2019年は、81,075人、  
2020年は、57,820人( コロナの影響? )  
2021年は、50,403人、  
2022年は、36,346人(速報ベース)、  
2023年は、35,733人(速報ベース)だった。



# 乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

